

日南町の新たな子育て支援

「日南病院における「病児・病後児保育」開始から半年」

鳥取大学医学部付属病院と日野郡三町との小児科医療連携また、出会いから出産、乳幼児から大学等進学まで子育てを切れ目なく支援する「子育て応援パッケージ」など、未来を担う子どもたちを健やかに育むため、日南町では、ほかと比較しても充実した支援策を数々を打ち出しています。

今回は、その取り組みの一つとして今年度から日南病院で開始した「病児・病後児保育」についてお知らせします。

「病児・病後児保育」とは

「朝起きたら子どもに熱があり、体調が悪そう！今日どうしても済ませないといけない仕事があるのに…」

病児・病後児保育は、子どもが病気やけが等により、こども園や小学校に通う事が難しい場合において、保護者の勤務などの都合で家庭での保育が難しい時に利用できる保育の仕組みです。

これまで日南町の子育て家庭がこのサービスを利用したい場合には、実質的に日野病院を利用するしか選択肢がなかったため、身近な日南病院での保育の開始が待たれていました。

鳥取県は全国的に共働き世帯が多く、日南町にあっても例外ではありません。

病児・病後児保育は、子育て支援であると同時に、保護者の就労する事業所等への支援としての性質も併せ持つ事業となっています。



以前は日野病院にしかなかった病児・病後児保育が、日南病院でも始まったことで、仕事を休まなくてもよくなった！

総合診療は子どもの様子を電話で伝え、日南病院や日野病院の小児科に行けばいいか、かかりつけ医に行くべきかなど、最初の判断をしてくれて助かる！



急な発熱等でも、近くに小児科があることですぐに病院にかかれて安心！



利用状況

日南病院では、年度当初より事務の流れの確認や緊急時の救急訓練を行うなど準備を整え、今年の5月20日から病児・病後児保育を開始しました。

開始初月となる5月には利用がありませんでしたが、その後は利用者が増え始め、開始から約半年間で延べ30人のお子さんが利用されています。

一方、過去多い年で延べ16人の利用があり、町で利用料の支援を行ってきた日野病院の利用については、本年度は延べ2人（実人数1人）の利用に留まっています。

これから寒さが強まり、空気が乾燥する季節を迎えると、体調を崩す子どもが増えることも予想され、事業初年度となる今年度の利用数は50人程度まで増えることが見込まれます。

日南病院の利用人数 (R7.5.20～)

月別	延利用人数	実利用人数
5月	0人	0人
6月	8人	6人
7月	5人	5人
8月	2人	1人
9月	10人	7人
10月	5人	4人

